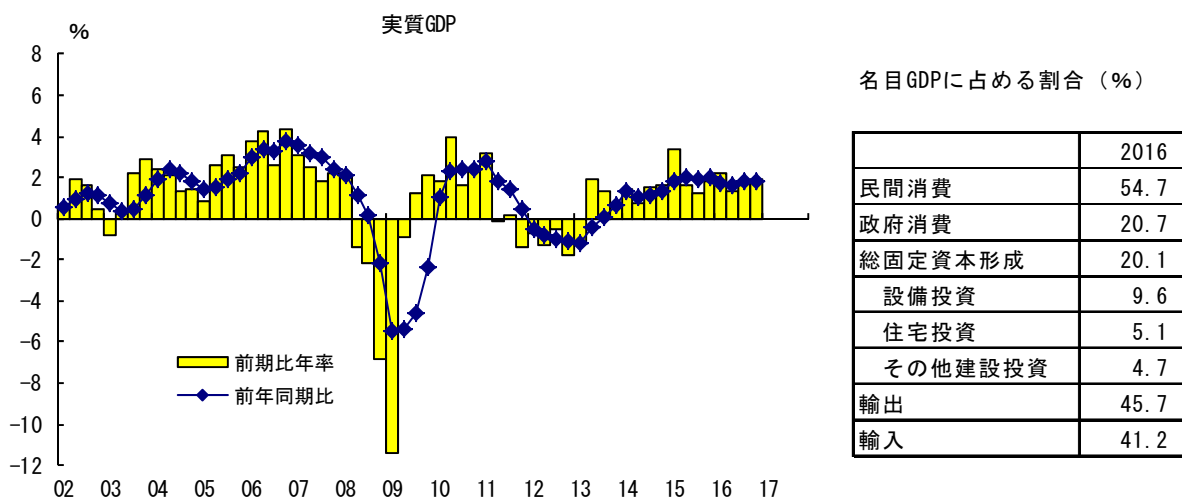


ユーロ圏 GDP

- 16年Q4のGDP成長率は速報値の前期比+0.4%から同+0.5%に上方修正された
- 上方修正幅が最も大きかった総固定資本形成は前期比+0.6%から同+3.3%へ修正され、前期比寄与度も+0.1%ptから+0.7%ptへ拡大した
- 一方、純輸出の前期比寄与度は-0.1%ptから-0.9%ptへマイナス幅が拡大した。輸入が前期比+2.0%から+3.9%に上方修正されたことが主因である



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.4	0.2	0.4	0.4	0.8	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3	0.4	0.5
個人消費	0.0	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.7	0.4	0.3	0.5
政府消費	-0.1	0.1	0.4	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.3	0.1	0.5
総固定資本形成	0.7	-0.6	0.7	0.3	1.9	-0.1	1.1	0.7	0.8	1.1	-0.2	3.3
設備投資	1.0	0.3	1.2	0.6	2.4	0.4	1.4	0.6	0.6	2.9	-1.7	6.4
住宅投資	1.1	-1.6	0.5	0.1	1.0	0.3	1.3	0.5	1.1	0.3	1.8	0.6
その他建設投資	-0.4	-1.6	0.0	-0.2	1.6	-1.5	0.5	1.0	0.8	-1.7	1.2	-0.4
輸出	0.9	1.1	1.7	1.5	2.7	1.2	0.2	0.7	0.3	1.3	0.4	1.8
輸入	1.1	1.3	1.6	1.3	2.4	0.9	1.2	1.4	-0.1	1.5	0.1	3.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

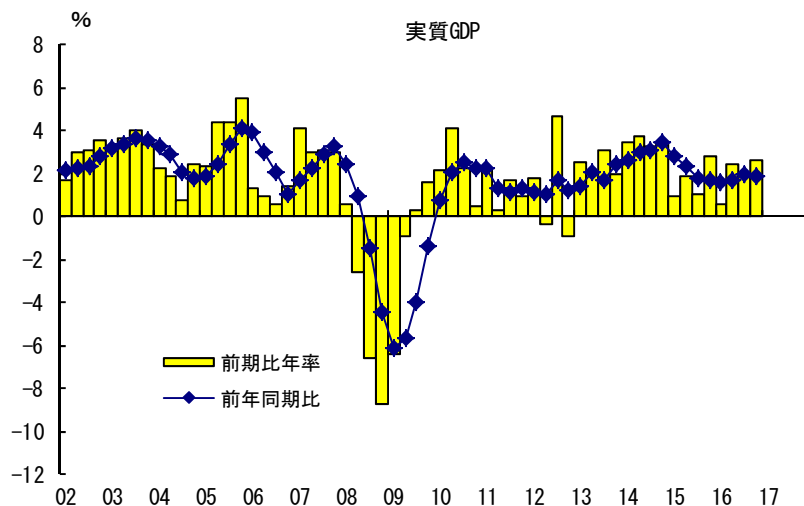
	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.35	0.17	0.37	0.40	0.83	0.39	0.30	0.45	0.56	0.33	0.43	0.48
個人消費	-0.02	0.16	0.20	0.29	0.26	0.25	0.24	0.20	0.39	0.19	0.18	0.25
政府消費	-0.01	0.03	0.09	0.04	0.07	0.06	0.10	0.11	0.15	0.07	0.03	0.09
総固定資本形成	0.14	-0.13	0.14	0.06	0.37	-0.01	0.22	0.13	0.16	0.23	-0.04	0.67
設備投資	0.10	0.03	0.12	0.06	0.24	0.04	0.14	0.06	0.07	0.29	-0.18	0.66
住宅投資	0.06	-0.08	0.02	0.00	0.05	0.01	0.06	0.03	0.06	0.02	0.09	0.03
その他建設投資	-0.02	-0.08	0.00	-0.01	0.08	-0.07	0.02	0.05	0.04	-0.08	0.06	-0.02
在庫変動	0.31	0.18	-0.14	-0.11	-0.10	-0.10	0.15	0.26	-0.30	-0.14	0.13	0.30
輸出	0.39	0.47	0.75	0.67	1.25	0.56	0.11	0.34	0.12	0.61	0.18	0.84
輸入	-0.44	-0.53	-0.66	-0.54	-1.01	-0.36	-0.52	-0.59	0.03	-0.64	-0.05	-1.69
純輸出	-0.05	-0.06	0.10	0.13	0.23	0.20	-0.41	-0.25	0.15	-0.03	0.13	-0.85

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 16年Q4のGDP成長率の確報値は前期比+0.7%で、速報値から変わらず
- 16年Q4の輸出は前期比+4.1%から同+4.6%へ上方修正されたため、純輸出の前期比寄与度は+1.3%ptから+1.7%ptに拡大した
- 他方で、在庫変動の前期比寄与度が-1.2%ptから-1.6%ptに修正され、純輸出寄与度のプラス効果を相殺した



名目GDPに占める割合 (%)

	2016
民間消費	65.1
政府消費	19.0
総固定資本形成	16.7
政府部門	2.6
企業部門	9.3
民間住宅投資	3.3
輸出	28.2
輸入	30.1

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.5	0.3	0.7	0.2	0.6	0.5	0.7
個人消費	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.5	1.0	0.4	0.7	0.7	0.7	0.7
政府消費	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	0.9	0.6	-0.2	0.4	0.2	-0.1	0.0
総固定資本形成	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.8	-0.9	0.0	0.2	0.6	0.1
政府部門	16.1	-20.5	9.1	-0.6	1.0	-0.8	-1.6	-0.3	1.2	0.4	4.2	1.3
企業部門	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.7	-0.3	1.9	-2.4	-1.1	0.8	0.4	-0.9
民間住宅投資	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.7	4.3	-1.7	1.8	1.6	0.4	-0.9	1.4
輸出	2.6	-0.3	-1.3	4.0	3.2	-0.7	-0.6	5.9	-2.9	1.3	-2.1	4.6
輸入	-0.1	-1.3	1.1	2.8	4.1	-2.3	0.6	2.1	0.4	0.3	2.3	-1.0

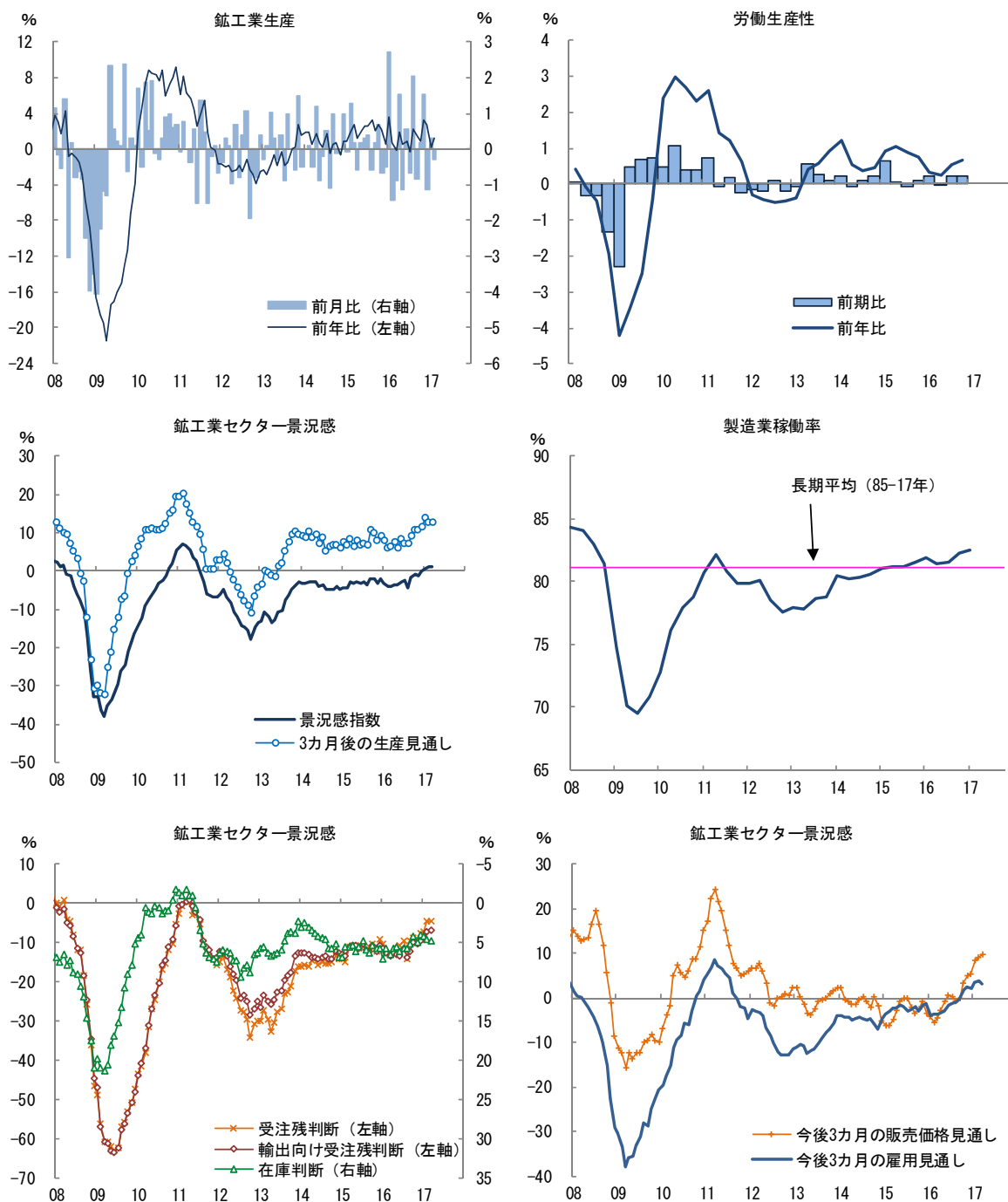
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4
実質GDP	0.85	0.93	0.81	0.83	0.25	0.48	0.27	0.69	0.15	0.60	0.50	0.66
個人消費	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.49	0.31	0.63	0.27	0.48	0.48	0.47	0.46
政府消費	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.08	0.18	0.11	-0.03	0.07	0.04	-0.03	0.00
総固定資本形成	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.24	0.21	0.13	-0.15	0.00	0.04	0.09	0.02
政府部門	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.03	-0.02	-0.04	-0.01	0.03	0.01	0.11	0.03
企業部門	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.25	-0.03	0.19	-0.23	-0.11	0.07	0.03	-0.09
民間住宅投資	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.06	0.14	-0.06	0.06	0.05	0.01	-0.03	0.05
在庫変動	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.29	-0.81	-0.26	-0.55	0.34	-0.43	1.25	-1.63
輸出	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.94	-0.22	-0.18	1.76	-0.92	0.39	-0.65	1.37
輸入	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.32	0.77	-0.18	-0.68	-0.15	-0.10	-0.77	0.35
純輸出	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.38	0.55	-0.36	1.08	-1.07	0.29	-1.43	1.73

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比-0.3%と1月の同+0.3%から反落した。前年比伸び率は+1.2%にやや加速したが、低成長にとどまった
- 3月の鉱工業セクター景況感は、2011年6月以来の高水準をつけた2月からほぼ変わらず
- 鉱工業セクター景況感のうち最近1年の改善が最も顕著なのは販売価格見通しだが、生産、雇用に関する見通しも堅調

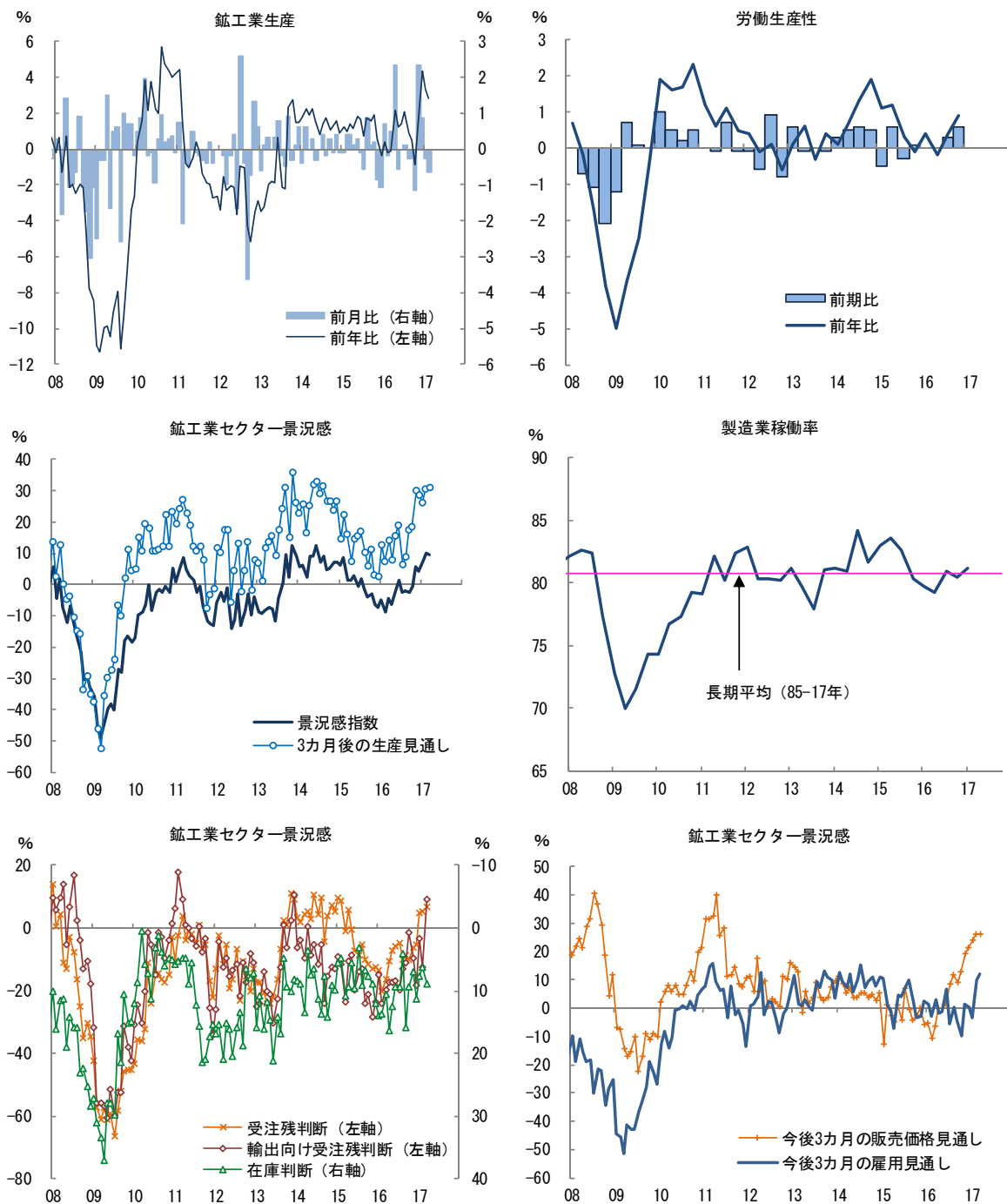


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比-0.7%と2カ月連続で落ち込み、前年比も+2.8%に減速した
- 3月の鉱工業セクター景況感是在庫判断の悪化により、2月と比べてごく小幅に悪化したが、生産見通しと受注残判断は一段と改善した。特に輸出向けの受注が好調とみられる
- 鉱工業セクターの雇用見通しは2月、3月に顕著に改善している

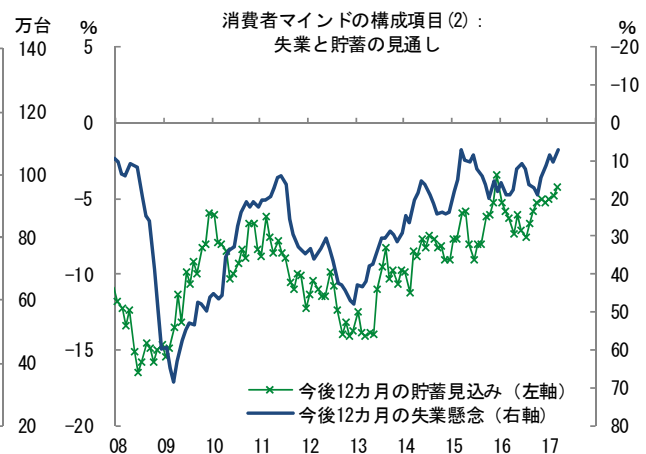
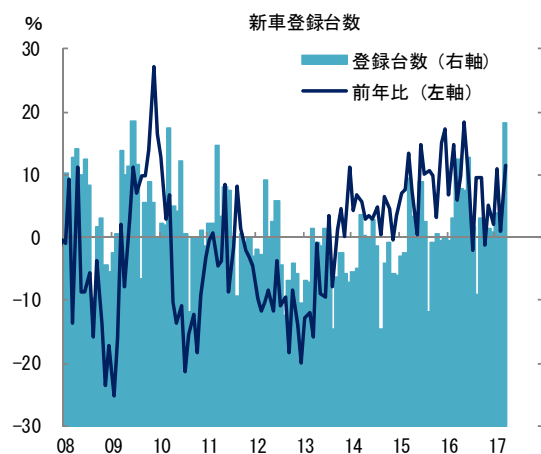
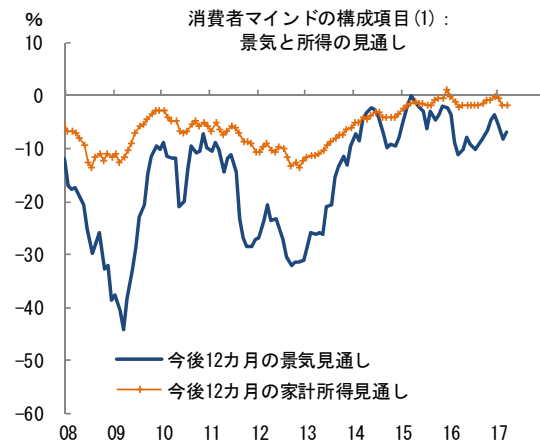
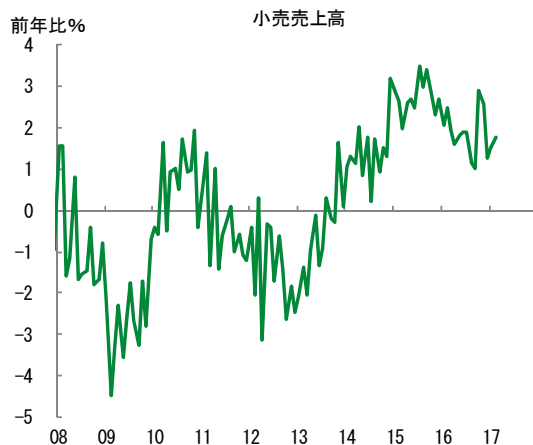
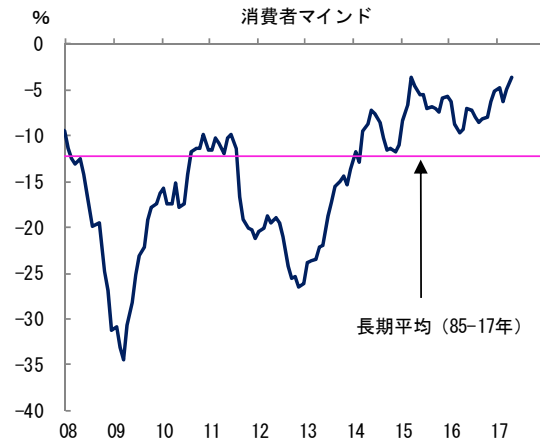
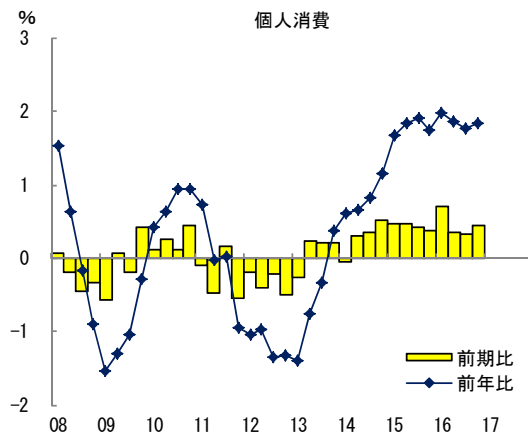


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 2月の小売売上高は前年比+1.8%へ小幅加速
- 3月の新車登録台数はイースター効果で営業日が多かったこともあって前年比+11.5%
- 消費者マインドは景気見通しが持ち直して失業懸念が後退した3月に-5.0%に改善したあと、4月の速報値では-3.6%と金融危機以降の最高値に並んだ

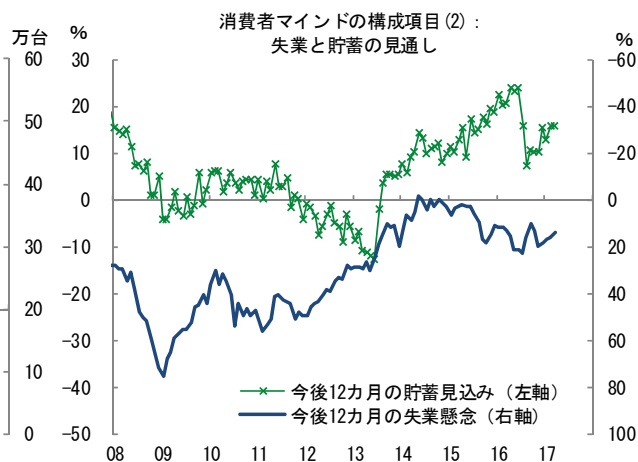
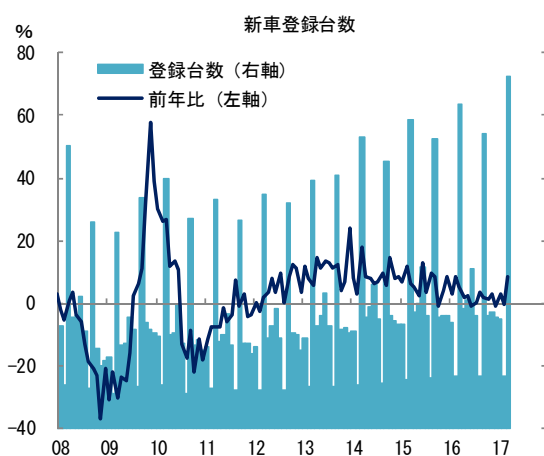
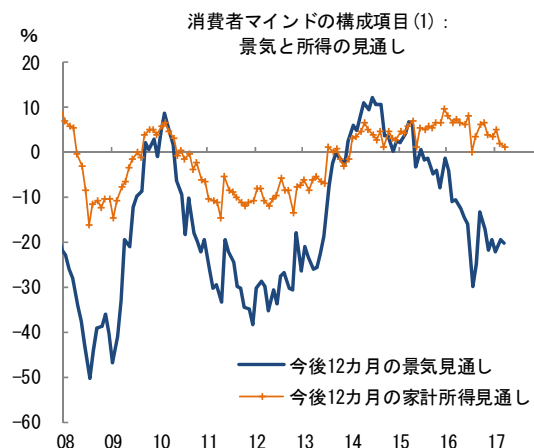
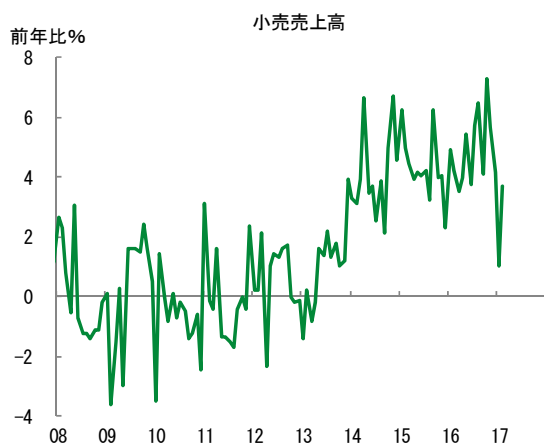
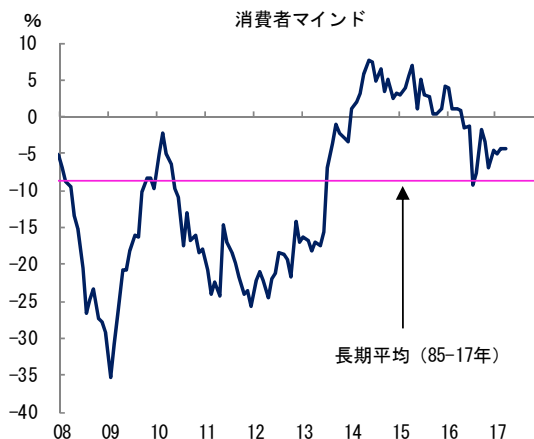
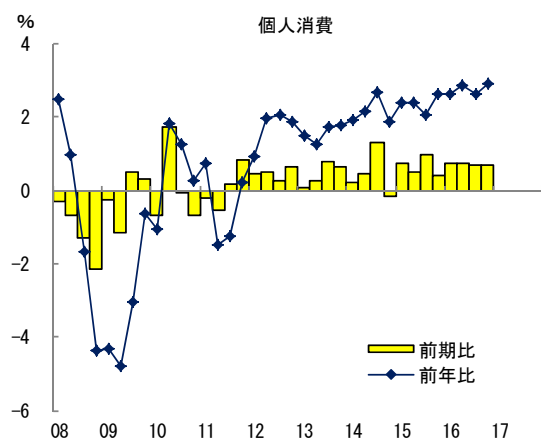


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 2月の小売売上高は前年比+3.7%と1月の同+1.1%からは反発したが、14年以降の平均である同+4.3%は下回った
- 3月の新車登録台数はイースター効果で営業日が多かったこともあって前年比+8.4%
- 3月の消費者マインドは2月と同じ-4.3%で85年以降の長期平均は上回っている

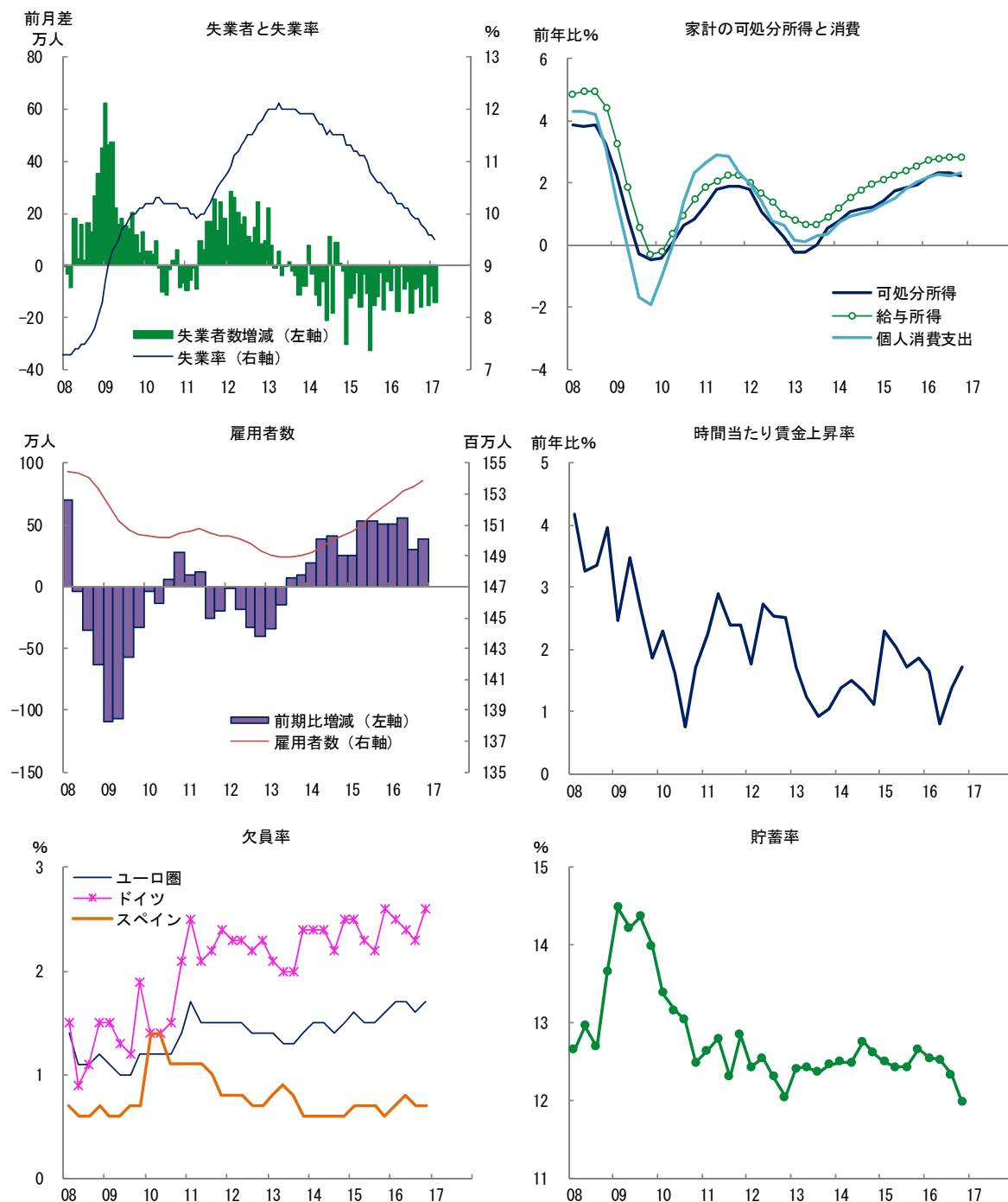


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 2月の失業率は09年5月以来となる9.5%へ低下。14年11月以降、失業者数は一貫して減少している
- 16年Q4の可処分所得は前年比+2.3%と堅調な伸びとなり、個人消費支出も同+2.4%となった
- 16年Q4の貯蓄率は12.0%へ低下した

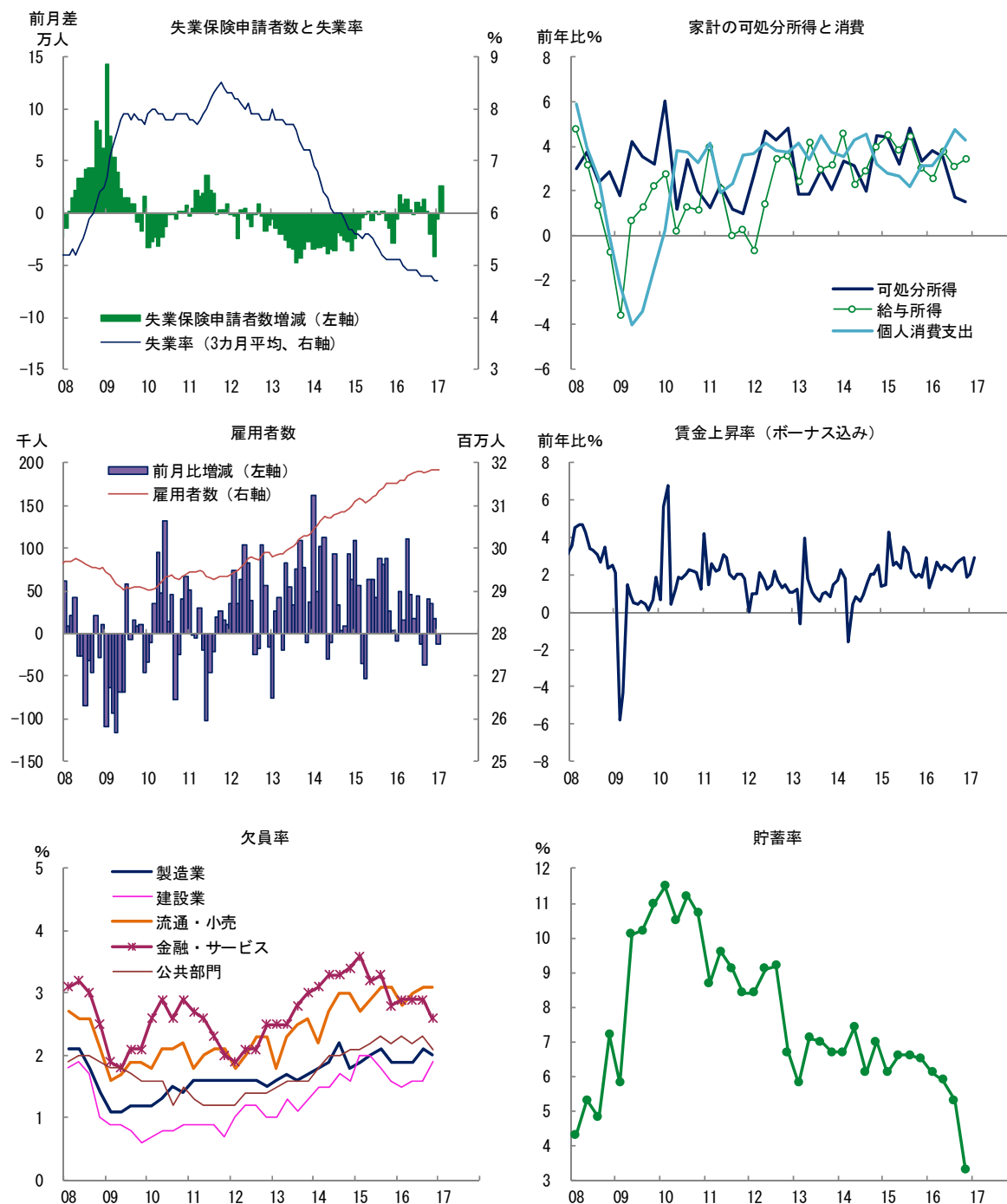


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 12-2月平均の失業率は4.7%と11-1月平均から変わらず
- 2月の賃金上昇率は前年比+2.9%に加速したが、12-2月平均は同+2.3%と11-1月平均と同水準
- 16年Q4の可処分所得は前年比+1.5%へ減速した一方、個人消費支出は同+4.3%と高い伸びを維持したため、貯蓄率は3.0%と80年以降の最低水準を更新した

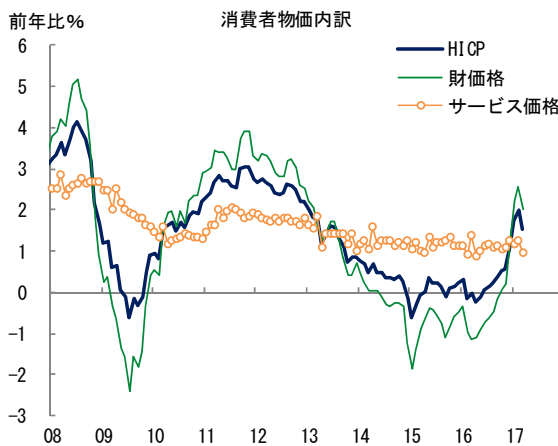
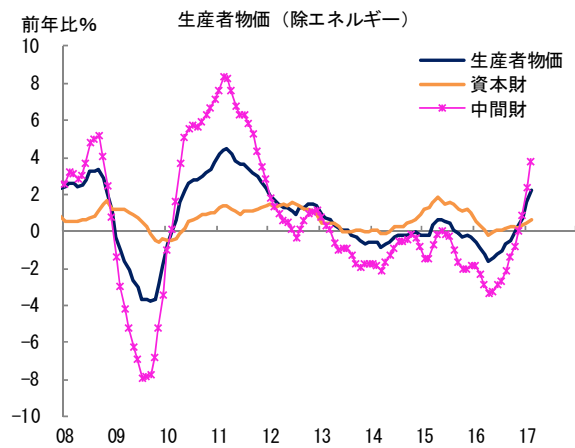
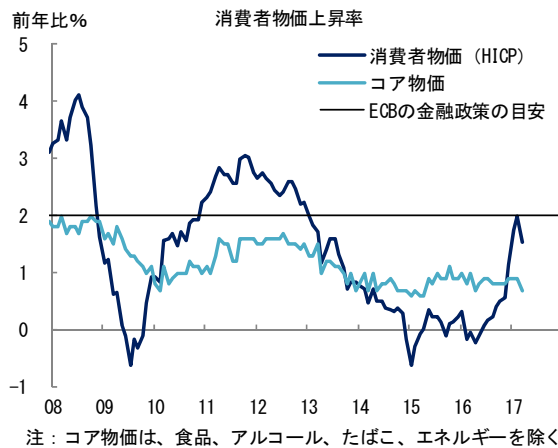


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

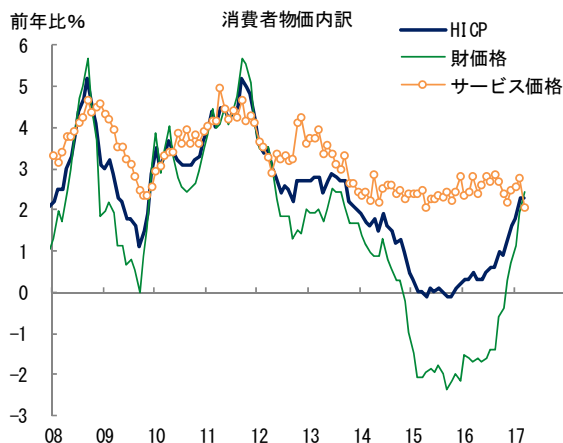
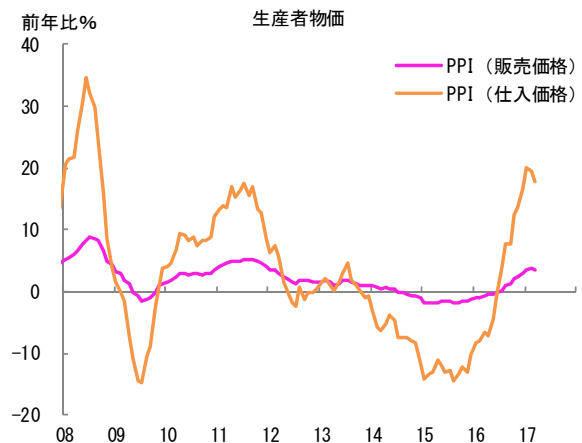
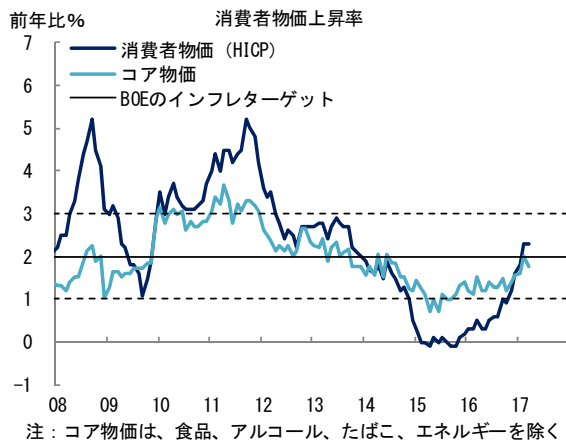
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.5%へ減速。エネルギーと食品価格の上昇率が鈍化した影響が大きいですが、それらを除いたコア物価上昇率も同+0.7%に減速した
- 1月の輸入物価は前年比+10.2%へ急加速。2月の生産者物価も同+2.2%に加速し、中でも中間財が同+3.8%と11年10月以来の高い伸びとなっている
- 3月の原油価格（北海ブレント）は1バレル当たり51.6ドルと小幅下落



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

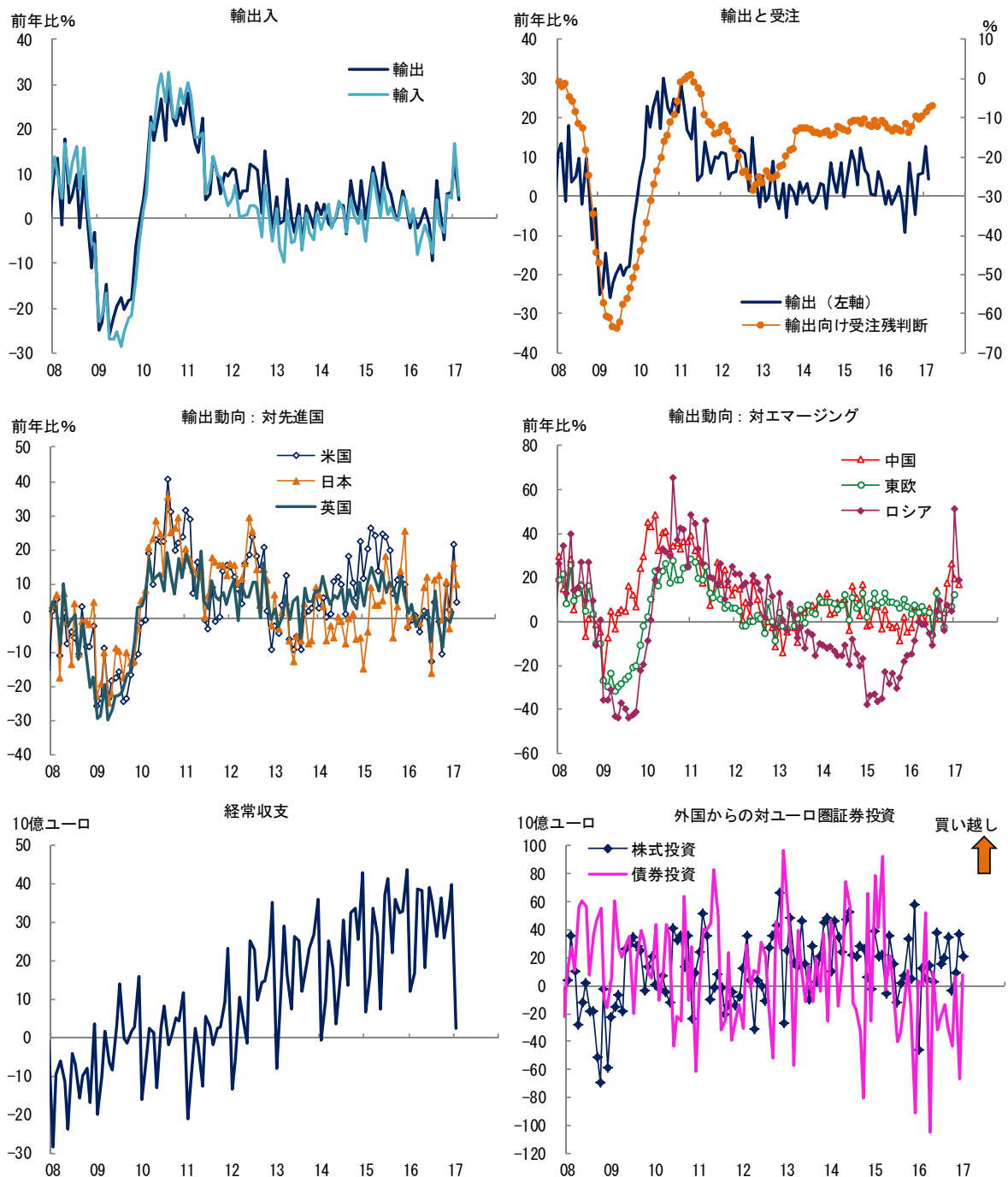
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.3%と2月比横ばい
- エネルギーなどを除くコア物価上昇率は3月は前年比+1.8%に減速した。サービス価格の伸び率が鈍化しているが、これは昨年3月だったイースターが今年は4月になった影響で航空運賃の値上げが後ずれした影響が大きい
- 3月のポンドの実効為替レートは前月比では-1.3%、前年比では-10.6%



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

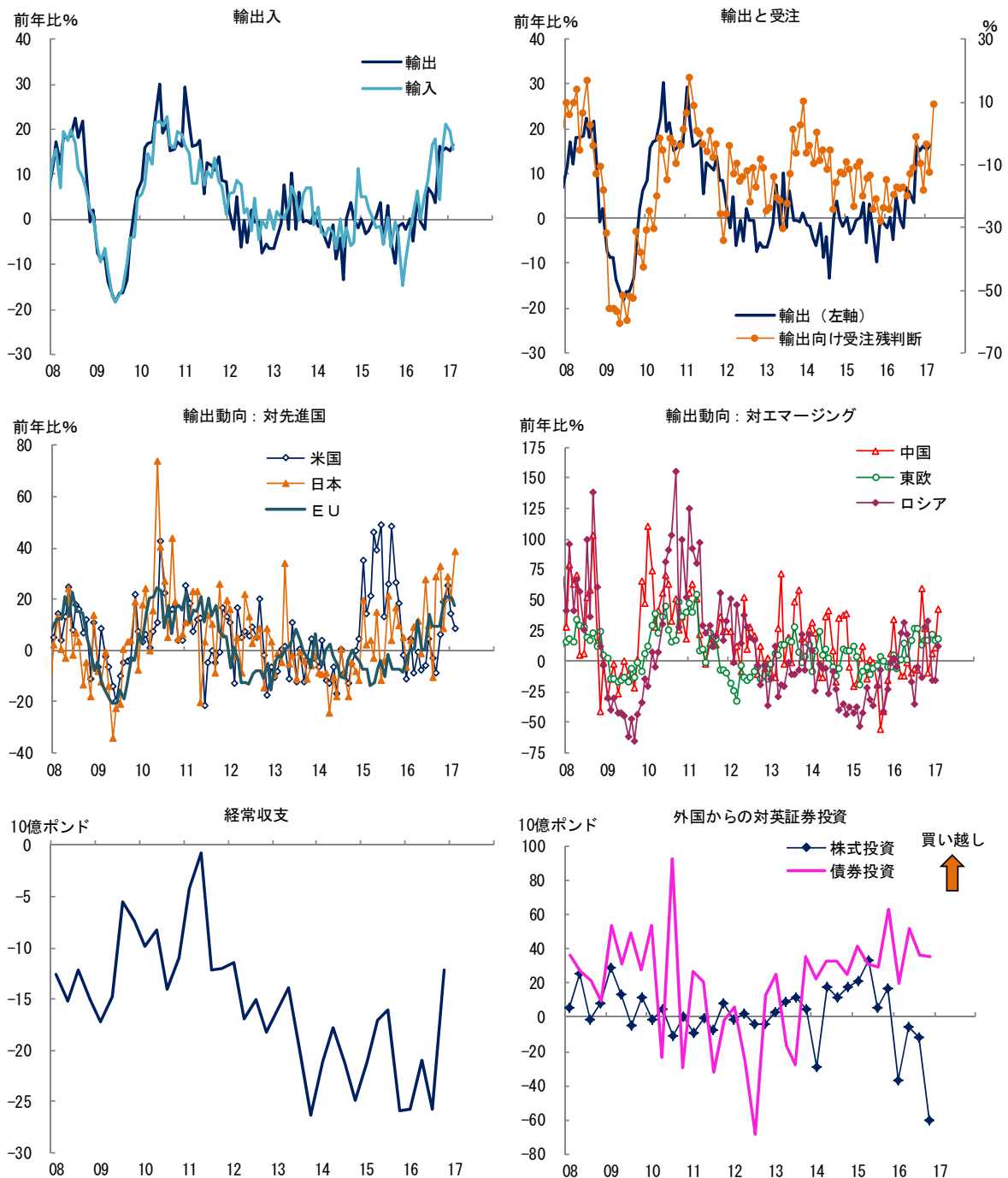
- 2月の輸出は前年比+4.4%、輸入は同+5.3%と1月と比較すると共に伸びは鈍化したものの、4カ月連続で拡大
- 2月の相手先別輸出は米国向けが前年比+4.6%、中国向けが同+17.0%、ロシア向けが同+19.1%とそれぞれ拡大。原油高などにより輸出物価上昇も拡大に寄与している
- 鉱工業部門の輸出向け受注残判断は3月も改善傾向が続いている



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 2月の輸出は前年比+16.5%、輸入は同+15.5%とそろって二桁の伸びが続いている
- 2月の輸出を相手先別に見ると、シェア48%のEU向けが前年比+17.7%、シェア18%の米国向けが同+8.3%と主要先進国向けが好調で、加えて中国向けは同+42.9%と急拡大した
- 16年Q4の経常収支の赤字は121億ポンドと赤字幅が大きく縮小した。輸出拡大により貿易収支の赤字が大幅に縮小したことが貢献した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成